



令和2年2月3日発行
東京自由保育園

冬場に多い 嘔吐・下痢

この時期、気を付けたいのが「ウイルス性胃腸炎」。ノロウイルス、ロタウイルスなどに感染すると、激しい嘔吐と、水のような下痢が起こります。嘔吐や下痢で体内の水分が失われ、脱水症状になると大変危険です。症状が落ち着いてきたら、少量ずつ水分摂取を促し、安静にして過ごしましょう。



2月の保健行事

- 14日（金）乳児身体測定
- 17日（月）幼児身体測定
- 18日（火）0歳児健診

予防接種表の記入のお願い

板橋区の保育園では、各年度末に、予防接種の接種状況を板橋区に報告させていただいています。

最新の予防接種状況と、既往歴を記載の上、提出いただくようご協力をお願いします。

提出方法については、掲示物にてお伝えしていきます。



子どもの視力ってどのくらいあるの？



4・5歳児対象で、今年度2回目の視力検査を行いました。

すでに結果はお伝えしていますが、ここで少し目の話をしたいと思います。

生まれたばかりの時、0.01くらいだった視力は、生後6週頃からぐんぐんと発達していきます。個人差はありますが、6歳で1.0程度まで上昇、その後発達の程度は緩やかになり、8~10歳で完全に止まります。その為、この時期までに、何らかの原因で視力の発達がうまくいかなかった場合、その後の視力を伸ばす事はとても難しいと言われてしています。

一番視力が伸びるのは、乳幼児期ですが、実際に視力を調べる機会は少なく、自分の目に異常があったとしても、自覚がないので気付きにくいです。

物を見る時に、目を細めたり、見えにくそうにしている様子はありませんか？お子さんの目の状態に向け、気になる事があれば、早めに眼科を受診するようにしましょう。

